

# 都留市総合戦略（第2版）概要

## 1. 基本的な考え方

都留市人口ビジョン（第2版）でも示したとおり、本市の人口は平成12（2000）年をピークに減少傾向にあり、今後、時間の経過とともに、人口減少と少子高齢化が一層進行し、将来的に本市は地方自治体としての機能を維持することさえ難しくなることも予想される。都留市人口ビジョン（第2版）に示す将来の人口展望を実現し、人口減少・少子高齢化と地域経済の縮小を克服するため、本市のまち・ひと・しごとを創生する実効性の高い手立てとして「都留市総合戦略（第2版）」を策定し、着実に取り組んでいくこととする。

### （1）第6次都留市長期総合計画中期基本計画と都留市総合戦略（第2版）との関係

第6次都留市長期総合計画中期基本計画は、本市の最上位の行政計画であり、具体的な施策・事業、プロジェクト等の立案・実施に向けて、毎年度行われる予算編成の基本となる計画である。本計画では、人口減少問題を最重要課題として掲げていることから、本計画をまち・ひと・しごと創生法第10条に基づく、市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略としても位置付け、一体として取り組んでいくこととする。

## 2. 目指すべき人口の将来展望

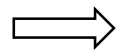
### （1）現状推移の推計人口

本市の総人口は、平成12年（2000）年のピークを境とした減少に歯止めはかからず、令和2（2020）年から令和7（2025）年にかけて、30,000人を切る予想となっている。また、令和22（2040）年を過ぎた頃には20,000人を切り、その後も減少を続けていく推計となっている。

### （2）都留市総合戦略（第2版）と第6次都留市長期総合計画の実施による人口の将来展望

人口の維持を図るため、合計特殊出生率の向上、社会増減の均衡化を目指し、都留市総合戦略（第2版）と第6次都留市長期総合計画を実施した場合の人口の将来展望は次のとおり。

- ・2030年に合計特殊出生率1.8達成、その後2040年に合計特殊出生率2.07達成
- ・転入転出者の均衡（人口1,000人あたり、+5人/年）



第6次都留市長期総合計画の終了年次にあたる令和8（2026）年に30,000人程度の人口が確保

## 3. 基本目標及び基本的方向、具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

### （1）基本目標

都留市総合戦略（第2版）では、その時勢に合致した取組を完遂するという考え方に基づき、中期的に事業群をリードし、持続可能なまちづくりに対して大きな役割を担うであろう施策を分野別計画の中から抜き出し、「6つのまちづくりの方向」とは別に、「リーディング・プロジェクト」として政策を位置づけていることから、中期基本計画のリーディング・プロジェクトを基本目標として位置づけ、一体として取り組んで行くこととする。

### （2）基本的方向

都留市総合戦略（第2版）の基本目標をリーディング・プロジェクトと位置づけていることから、リーディング・プロジェクトの「事業の目指す方向性」を「基本的方向」と位置づけることとする。

### （3）具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

各基本目標の下に盛り込む具体的な施策については、リーディング・プロジェクトの「具体的施策」と位置づけ、また、リーディング・プロジェクトの「成果指標」を「重要業績評価指標（KPI）」と位置づけることとする。

### （4）計画期間

計画期間は、令和2（2020）年4月1日から令和5（2023）年3月31日までの3年間とする。

